

第2学年1組 図画工作科学習指導案

指導者 長谷川 真紀
場 所 図工室

1 題材 ドリームランドへようこそーゆめのどうぶつ、はっけん！ー
(つくりたいものをつくる)

2 題材の目標

- (1) 自分のイメージに合わせて工夫して表現しようとしている。
(造形への関心・意欲・態度)
- (2) 色や形、言葉を基に、夢の動物のイメージを自分なりにもつことができる。
(発想や構想の能力)
- (3) いろいろな材料や用具を自由に試し、自分のイメージに合った表し方を見付け作品に表すことができる。
(創造的な技能)
- (4) 自分の作品や友達の作品のよさに気付くことができる。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、紙粘土で立体に表す題材である。児童に馴染みがあり、加工しやすく、失敗してもやり直せるという観点から、中心素材として紙粘土を使う。イメージを基に試行錯誤を繰り返しながら製作する活動を通して、表したいことに合わせて工夫して表すことを身に付けるのに適した題材であると考えられる。

(2) 児童の実態 (27人)

本学級の児童は、今までに全員が紙粘土や粘土べらを使って製作をしたことがある。しかし、いろいろな材料を組み合わせる製作をしたことがある児童や、1学期の既習題材「カプリン」「新聞人間」のときに工夫して製作できたと感じた児童は少ない。また、つくり方で困ったときに、自分で考えずに教師や友達に聞いてしまう児童が多い。このようなことから、イメージしたり、工夫して表現したりすることが十分でないことが分かる。

(3) 指導観

導入時には、つくりたいものに対する自分のイメージがもてるようなお話を聞かせ、イメージしたものを言葉や絵にかきおこす。また、製作時には、お試しランドを設定することで、いろいろな材料や用具を自由に試し、試行錯誤を通して、自分のイメージに合った表し方を見付け作品に生かせるようにする。さらに、作品を飾りたい場所に置いて写真を撮り、自分のイメージを生かした作品名を付けて鑑賞することを通して、自分の発想や友達の発想を理解し合えるようにする。これらの学習活動により、表したいことに合わせて工夫して表すことができるのではないかと考えた。

4 学習計画（5時間扱い）

次	時間	学習活動・内容	関心	発構	創造	鑑賞
1	1 (本時)	・お話を聞いたり，紙粘土やいろいろな材料，用具を自由に試したりして，夢の動物のイメージをもつ。	○	○		
2	3	・自分のイメージに合った作品をつくる。			○	
3	1	・自分のイメージを生かした作品名を付ける。 ・作品を飾りたい場所に置いて写真を撮る。 ・自分や友達の発想を理解し合う。				○

5 本時の学習

(1) 目 標 話を聞いたり，材料や用具などを試したりしながら，つくりたいもののイメージをもつ。

(2) 準備・資料

教師…学習カード，記録カード

児童…探検バッグ，筆記用具

(3) 展 開

学習活動・内容	・指導上の留意事項 評 評価
<p>1 本時の学習をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>紙ねん土やいろいろなざいりょうをつかって「ゆめのどうぶつ」をつくろう。</p> </div> <p>2 お話を聞いて，夢の動物のイメージをもつ。</p> <p>(1) お話を聞く。</p> <p>(2) イメージしたものを言葉や絵にかきおこす。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈かきおこす言葉の具体例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしいよ。 ・にこにこしてるよ。 ・ふわふわだよ。 ・強いんだよ。 ・丸いよ。 ・とげとげしてるよ。 ・鳥みたいなんだよ。 ・うさぎみたいなんだよ。 </div> <p>4 後片付けをする。</p> <p>5 次時の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時までにはいろいろな材料が集まったことを話し，興味をもたせる。 ・夢の動物のイメージを広げやすい言葉や単語を多く用いながら話をする。 ・話を聞かせるときは，言葉や単語からイメージしたことを動作化しやすくするため，教師の周りに集まって座らせる。 ・イメージしたことを簡単な言葉で書かせることで，作品に対する自分のイメージを確かめさせるようにする。 ・なかなか書けない児童には，もう一度話を聞かせたり問いかけをしてかかわったりしながら，イメージがもてるように支援する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評【発想や構想の能力】（観察，カード） お話や試したことから，夢の動物のイメージをもてる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・次時は，アイデアスケッチを基に製作することを伝え，見通しをもたせる。

4 学習計画（5時間扱い）

次	時間	学習活動・内容	関心	発構	創造	鑑賞
1	1	・お話を聞いたり，紙粘土やいろいろな材料，用具を自由に試したりして，夢の動物のイメージをもつ。	○	○		
2	3 (本時)	・自分のイメージに合った作品をつくる。			○	
3	1	・自分のイメージを生かした作品名を付ける。 ・作品を飾りたい場所に置いて写真を撮る。 ・自分や友達の発想を理解し合う。				○

5 本時の学習

(1) 目標 自分のイメージに合う表し方を，試したり選んだりしながら作品をつくる。

(2) 準備・資料

教師…紙粘土，グルーガン，木工用ボンド，はけ，ローラー，スポンジ，洗面器，雑巾，記録カード

いろいろな材料（枝，小石，ドングリ，まつぼっくり，綿，毛糸，ビーズ，モール，ストロー，割り箸，つまようじ，スズランテープ，輪ゴム，ペットボトル，フィルムケース，マカロニ，おがくず等）

用具（粘土べら，ねじ，釘，ひも，ペットボトルのふた等）

児童…粘土板，粘土べら，集めた材料，はさみ，のり，絵の具セット，学習カード，探検バッグ，筆記用具

(3) 展開

学習活動・内容	・指導上の留意事項 評 評価
1 本時の学習をつかむ。 「ゆめのどうぶつ」をかんせいさせよう。	・学習カードを見ながら，どんな夢の動物にしたいのか確認させ，製作への見通しをもたせる。
2 自分のイメージに合った作品をつくる。 (1) 製作に当たっての気を付けることを聞く。 紙ねん土 ・乾燥を防ぐためビニル袋に入れ，使う分だけ取り出す。 おためしランド	・紙粘土の基本的な扱い方について，師範しながら理解させる。 ・紙粘土はできるだけ残さず，大きな作品をつくることで，イメージしたものをしっかり表現させる。 ・お試しランドにある材料や用具は，その場でいろいろ試したり，使いたいものを自分の場所に持ってきたりして使ってよいことを伝える。

- ・いろいろな材料や用具があるので、自由に使うといい。

学しゅうカード

- ・気付いたことや工夫したことを記録しておく。

せっちゃくざい

- ・木工用ボンドは、乾きにくいので付けすぎないようにする。

(2) 夢の動物をつくる。

〈期待する児童の反応〉

- ・どんな形にしようかな。
- ・持ってきた材料はここに使えるよ。
- ・違う材料がほしいな。
- ・いろいろ試してみようかな。
- ・ふわふわってこんな感じかな。
- ・もっといい材料ないかな。お試しランドを見てこよう。
- ・これも付けたらよくなったよ。
- ・うまく付かないよ、どうしよう。
- ・模様も付けてみようかな。

(3) 夢の動物に彩色する。

〈期待する児童の反応〉

- ・優しい感じはピンクかな黄色かな。
- ・羊の色は白だけど、水色にしちゃおう。
- ・細かいところがよく塗れないな。
- ・綿も一緒に塗ってみよう

- ・持参した材料は、友達と交換したりお試しランドに置いたりしてよいこととする。

- ・カードへの記入は、学習の最後に行うが、気付いたことがあれば簡単に記録しておくよう話す。

- ・自分の席で使う場合には、他に使いたい人がいないか確認しながら使う。

- ・机間指導により児童の学習状況を把握し、頑張りや工夫などを認め励ますことで、学習意欲を高める。

- ・児童それぞれの作品についてのイメージや表し方などを確認しながら話を聞き、自信を持って取り組めるよう言葉かけをする。
- ・なかなか取りかかれない児童には、何度でもつくり直しができることを話し、自信を持って取り組ませる。

- ・自分のイメージに合った作品が作れるように、お試しランドでいろいろな試し方を促すよう促す。

- ・接着がうまくいかない児童には、教師が接着の支援をする。

- ・つくりたいものが広がって粘土がたらなくなった児童には、必要な分を教師に伝えるようにさせ、不足分を与える。

- ・思うように製作できない児童には、話をいろいろな方法を提示したり、お試しランドに連れて行ったりしながら、材料や方法を選ばせて作品に生かせるようにする。

- ・よりイメージを生かせるように、色や塗り方を選んだり試したりして考えさせる。

- ・筆だけでなく、はけやローラー、スポンジなどで、絵の具を塗った感じの違いを確かめてみるよう話す。

<p>かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飾ったものも塗ったよ。 ・スポンジやローラーを使って塗るとおもしろいよ。 	<p>【評】【創造的な技能】(観察, カード, 作品)</p> <p>自分のイメージに合う表し方を, 試したり選んだりしながら作品をつくる。</p>
<p>3 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意し, 手際よく進めさせる。 ・完成した作品を乾かすため, 図工室に作品を並べるよう話す。
<p>4 次時の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は, 作品の写真を撮ったり, 作品名を付けたりすることと, 自分や友達の子の作品のよさを発見することを伝え, 見通しをもたせる。

4 学習計画（5時間扱い）

次	時間	学習活動・内容	関心	発構	創造	鑑賞
1	1	・お話を聞いたり，紙粘土やいろいろな材料，用具を自由に試したりして，夢の動物のイメージをもつ。	○	○		
2	3	・自分のイメージに合った作品をつくる。			○	
3	1 (本時)	・自分のイメージを生かした作品名を付ける。 ・作品を飾りたい場所に置いて写真を撮る。 ・自分や友達の発想を理解し合う。				○

5 本時の学習

(1) 目 標 イメージに合った名前を付けたり，飾りたい場所に置いたりした作品を鑑賞することを通して，自分や友達のよさを理解し合う。

(2) 準備・資料

教師…デジタルカメラ，プリンター，記録カード

児童…完成した作品，学習カード，探検バッグ，筆記用具

(3) 展 開

学習活動・内容	・指導上の留意事項 評 評価
<p>1 本時の学習をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ゆめのどうぶつ」の名前をつけたり，しゃしんをとったりしよう。</p> <p>じぶんやともだちのよさを見つけよう。</p> </div>	<p>・完成した自分の作品と学習カードを比べてイメージを確かめさせるとともに，写真を撮る場所を確認させる。</p>
<p>2 作品の鑑賞をする。</p> <p>(1) 作品に名前を付ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈作品名の具体例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲みたいなうさぎちゃん ・栗みたいなライオンくん ・山みたいな象さん ・たわしみみたいな亀くん ・花みたいなチョウチョ </div>	<p>・自分のイメージをよりよく表したり，相手に伝わったりするような作品名を付けるように促す。</p> <p>・作品名がなかなか思い付かない児童には，どんなイメージでつくったのかを聞き，一緒によい言葉を考えることを通して，名前を決定させる。</p>
<p>(2) 作品の写真を撮る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈期待する児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒にぶら下がっているんだよ。 ・空が見えるようにしたい </div>	<p>・グループで行動させ，お互いの作品を実際に見ながら協力して写真を撮ってくるよう指示する。</p> <p>・各グループの行動を把握し，背景もイメージに含まれることを思い出させ，気に入っ</p>

<p>んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の上へのせるよ。 ・花壇に置くんだよ。 ・カーテンの前に置くよ。 ・プールに行くよ。 	<p>た写真が撮れるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮ってきた写真は、すぐにプリントアウトしてカードに貼れるように、教師のところにすぐ提出するよう促す。
<p>(3) 自分や友達によさを見付ける。</p> <p>〈期待する児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふわふわ素敵だな。 ・あの羽どうやってつくったのかな。 ・足がかっこいいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージしたものを表すための自分や友達の工夫をよさとしてとらえ、学習カードにまとめさせる。 ・学習を振り返らせ、学習カードに記入させる。
<p>3 後片付けをする。</p>	<p>【評】【鑑賞の能力】（観察，カード）</p> <p>イメージに合った名前を付けたり，飾りたい場所に置いたりした作品を鑑賞することを通して，自分や友達の作品のよさを理解し合う。</p>